

2010年度

科目名	文化財学特殊研究(文化財構造論)			
担当教員	中村 浩			
配当	文修1		コード	11480
開期	通年	講時	月曜日1限	単位数 4
授業テーマ	日本古代窯業史の研究			
目的と概要	日本古代の窯業を歴史的、考古学的に検討することによって、古代の窯業生産の実態および諸問題を明らかにする。			
成績評価法	平常点(40%)と課題に関するレポート(60%)			
テキスト	中村浩『和泉陶邑窯の歴史的研究』芙蓉書房、その他は授業中に指示、または配布する。			
参考書	授業中に指示する。			
履修に 当たっての 注意・助言	授業中に生じた疑問点は必ず質問してその時間に解決することを心がけてください。			
講義計画				
第1回	授業の進め方(オリエンテーション)			
第2回	須恵器研究がなぜ必要か?			
第3回	陶邑窯とは?(位置と状況)			
第4回	陶邑窯の成立			
第5回	陶邑窯の成立の背景			
第6回	陶邑窯の発展1			
第7回	陶邑窯の発展2			
第8回	陶邑窯の展開1			
第9回	陶邑窯の展開2			
第10回	陶邑窯の展開3			
第11回	陶邑窯の展開4			
第12回	陶邑窯の展開5(地方への展開1)			
第13回	陶邑窯の展開6(地方への展開2)			
第14回	陶邑窯の展開7(地方への展開3)			
第15回	陶邑窯の終末			
第16回	陶邑窯後の展開1			
第17回	陶邑窯後の展開2			
第18回	後半期の須恵器生産1			
第19回	後半期の須恵器生産2			
第20回	後半期の須恵器生産3			
第21回	後半期の須恵器生産4			
第22回	後半期の須恵器生産5			
第23回	後半期の須恵器生産6			
第24回	須恵器研究の課題1			
第25回	須恵器研究の課題2			
第26回	須恵器研究の課題3			
第27回	須恵器研究の課題4			
第28回	須恵器研究の課題5			
第29回	須恵器研究の課題6			
第30回	須恵器研究の総括			